

# あ・も・し・ち・ん・人・生 めだかの学校だより

平成9年11月1日  
第18号

学舎:いなさ自然体養村  
くつみくさ>  
引佐郡引佐町奥山  
1737-286  
TEL053-543-0321

## 校長訓話

第十八回校長 藤城佐知子

## 出逢いの不思議さ

### エトセトラ

めだかの学校に入校し、何もわからずキョロキョロしているうちに、これまた天地がひっくり返る様な「校長」との命令。もう只々驚き、驚き・・・。

思い起せば四年ほど前になりますが、豊橋のある喫茶店にてのティーパーティーにて、めだかの学校の先輩、加茂光廣氏に出逢いました。

その後、絵がお好きだと言われる加茂氏が私の画廊（豊橋駅西、徒歩十分位に位置する小さな見栄えのしない所）に立ち寄って下さり、めだかの学校のことを知ったのです。

加茂氏との出逢いがなかったら、こうして原稿を書くこともなかったでしょうし、皆様方とお逢いすることもなかったことを思いますと、今さらながら、人との出逢いの不思議さ、おもしろさ、楽しさを感じます。

人生、人との出逢いのみならず、多く



のものたち、出来事との出逢いも、これまた楽しさ、うれしさ、悲しさ、苦しさ、エトセトラ。バラエティーあふれる出逢いの中で、人は育てられ、自分らしい花

が咲いてゆく様に思えます。各々の出逢いがあり、集まった、めだかの学校の生徒達が、又各々の多くの出逢いを重ね、より豊かに、大きく成長してゆけることを改めて、願いたいと思っております。

よろしくおねがいします。

## めだかの学校伝言板

第18回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

開校日/平成9年12月5日(金)6:20PMより

校長 / 藤城佐知子 藤の城画廊、マリンバ奏者

教頭 / 菅川 一生 二紀会同人

用務員 / 佐原 剛 養豚、おらんピッグ

給食係 / 金子芳美・藤原俊子・大塚加奈子・大谷香代子  
・平本尚久・久米かよ子・古橋利雄

1時限目=服部守孝先生

自然科学「川について」

2時限目=柚木恵美子先生

情報学「交流と情報」

3時限目=戸田昭朗先生

観光学「観光は今」

※給食担当の生徒は、近日中にメニュー打ち合わせ会を予定しています。(協力/湯浅明美・鈴木真弓)

なお、給食係指名で名前がもれている方は、ご連絡ください。

# めだかの動き 泳ぎ回るめだかたち

## ■湯布院の文化

映画館、コンサートホール一つないこの湯布院で始められた映画祭、音楽祭がそれぞれ22、23周年を迎えた。

21世紀は地方が文化創造の担い手になるべきだといわれている。東京は文化情報の消費地でしかない。本質的な意味でオリジナリティな文化情報を生み出していない。海外からみて東京は高額で買ってくれるところで、アーティストにとって敵ではないが、オリジナリティを競い合うところではない。では地方は、東京に集中する文化情報のおこぼれを買い集めるところでは意味がない。東京に売り込むオリジナリティな文化情報をいかに創造するかが問われている。

文化を人間の営みとして捕らえるとき、その人間のポラントリーから出てきたものではないか。市場経済に忠実であることが文化ということではない。むしろポラントリー経済というものが成立するところこそ、初めて人間が文化性のある営みをしていると言えるのではないか。ポラントリーというものは、どこかで儲けているので、ただで出てきて善意で行動すると思われがちだが、そんなことはない。ポラントリーといえども、お金のしほりえない。ポラントリーを人間の営みとするための経済をどうやって成立させていくかは、今後の湯布院文化の大きなテ

ーマである。ここに、文化からまちづくりを実践し湯布院の地域の持つ心豊かなイメージを育てていくと共に、新たな文化創造に御協力いただけるよう湯布院文化に賛助金を募るものであります。

といったもつともらしい理由をつけて、映画祭の赤字補填のためにお金集めに奔走するのが、湯布院流なのです。

由布院観光総合事務所（溝口久生徒）  
TEL 85・4464 FAX 85・4465

## ■二百四十五日考——清原英雄

月日の早いこと。豊岡村の伊藤英雄さん。博士直々の指導による植え付けから、もう百二十日が経過してしまいました。

今日は「なんでもあり農園」の収穫感謝祭です。秋なのに、冬の遠州名物のカラツ風の吹きつける中、遠くは春野町、近くは地元の人まで、家族・恋人・めだか仲間など様々な参加者の面々にうれしくなってしまう。子供達は素足で砂や水遊び。みんなで採れたてのさつま芋やナスの天ぷらで昼食。逸品はハマボウフウの天ぷら。初体験の人もちらほら。持ち寄ったカボチャや里芋、ジャガ芋など即、パーベキュー。食後のデザートは地域自慢の柿にみかんに落花生にスイカ。もう、収穫祭だが地域の食自慢会何だか。お帰りに袋詰めめさつま芋、スタツフ、お客様、ともども体も心も満腹。みんなご苦労様でした。スタツフの皆さん、来年はどうします？ゆるりと考えましようや。（深谷 孝生徒）



## ■全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラムに参加して

開催日：平成9年10月16・17日

参加会場：伊豆長岡町、修善寺町

伊豆の地に降り立ったのは、何年ぶりのことであろうか？

何が起こるのかを期待しつつ、伊豆長岡町に降り立った。午前10時半、開幕までにはまだ2時間あまり余裕がある。うまい昼飯を探そうと駅前から歩き出す。

狩野川べりを抜けて市街地に入る。高いマンションやホテルが目立つようになる。通りを奥にはいると住宅街、大理石が野積みされた石材作業所が目についた、公共施設かホテルに使うのであろうか。

お店は夜が本番なのが、休日であるのか、「この店」というのが見つからず昼飯は簡単に済ませた。

政策フォーラムということ、どんな人が集まっているのか、参加する第2分科会の宿泊名簿を見ると清原さんの名前、あとは都道府県職員が多い。市町村は静岡県だけである。

森啓氏の講演からである。文化行政、文化行政担当、文化財団などへの、つよい批評から始まる。

落語のような話しぶりであるが、内容は機関銃。メモを取ろうと思っても追いつかない。

最初のインパクトで出席者も影響されたのか、すけすけと意見が出来る。

行政も地域も住民も、人が問題。結局のところ「人の資質や心得、つき合い方」が大切なんだということになったように

も感じられた。

講師の先生方は、「フォーラムでは結論は出しません。参加したみなさんが、ひとりひとり答を持って帰って下さい。」ということでしたが、「答は実践して出して下さい」と言っているように聞こえました。

アート、カルチャー、文化的、文化活動、パートナーシップ、コミュニケーション、住民と市民、舞台（舞台芸術）、キーパーソン、付加価値、体験と経験、地域間交流、地方からの発信、自治体経営など、言葉の氾濫に頭が混乱しっぱなし。2日間五日鍋に浸ってぐつぐつと煮込まれた感じでした。

文化とは「実践すること」理屈をこねるのは評論家の役目だろう。

自分の意志と責任で行動した結果でしよう。

自己満足と紙一重だけど、自己満足でも十分楽しい。自己満足で自由になつていられる方がおもしろい。（山下 正生徒）

## ■地域づくりの研究集会に参加して

ヒューマンネットワークマガジン「かがり火」主催による地域づくり集会に参加した。

開催地は、関さんの「長野県天竜村」。地元や青森から約50名が参加者が集まり、約10名のめだかの仲間も出席した。

出会った人に手紙を書き続け、1500人もの人と結んだネットワークでは情報発信や出会いの大切さを、孤軍奮闘でガンバル青森の役員職員に対する

参加者の意見からは自分も楽しむことが

地域づくりや文化のめだか

し一等、楽しい、美しい企画を予定し

ずおおるりーせき場こころ、開催します。

参加者の意見からは自分も楽しむことが大切であることなど教えられた機会であった。

そして何より青森の人も絶句する秘境天竜村での集会ができたことで、関さんにエールを贈りたい。

問い合わせ  
リゾート通信社

03・5276・1051

(村松達雄生徒)

### ふるきやらが村にやってきましたー天龍村

9月21日、劇団「ふるきやらがらばん」が天龍村にやってきました。にぎやかな垂れ幕で飾られ、ミュージカルの公演開場となった村の体育館は、座布団を手に集まった人達で熱気ムンムン。開演を今や遅しと待つ。じいちゃんもばあちゃんも嫁さんも孫も隣の村の娘夫婦も親戚もみんな揃って。さーあ、新作カントリミュージカル「パパは家族の用心棒」のはじまりはじまり。村の活性化と家族の絆がテーマ。なのに音楽とセリフ、ダンスが妙にあつたかくつておもしろい。拍手と笑いがあふれ、終わって帰るみんなの充実した顔はなんなのか。きつと自分を舞台の中のひとりに置き換えて、一緒に考え一緒に行動してたんじゃないのかな。わたしのよう。

知る人ぞ知る、この「ふるきやら」は公演地の人達とのふれあいから舞台が始まるという。公演誘致に奔走したメダカの生徒、関京子さんがこの公演成功の陰の立役者であったようだ。

(照井泰子生徒)

### 地域おこしや交流にめだかが活躍

上嶋裕志生徒が委員長を務める細江町の「いにしへのまち発達事業検討委員会」が細江の伝説で地域活性化をと31話を冊子に編集した。信玄の埋蔵金、坂上田村麻呂の東征などに登場する伝説スポーツの切り絵看 板の設置もされる。

また、9/1には岐阜県恵那郡福岡町のめだかたち「夢倶楽部」のメンバーとの交流が発展、グラフィックデザインなどもある上嶋生徒が福岡町で小石や和紙などを使った作品作りに取り組んでいる「ふくおか夢工房」に小石細工を指導した。

豊岡村の伊藤英雄生徒は毎年、三ヶ日奥山平山小学校に紫芋の苗を寄贈している。校長先生より11/1の収穫祭ではまんじゅうなどにしてみんなで味わったと喜びの報告があった。加茂光廣生徒の「トナカイの鈴」も豊作だったとのこと。

今秋、久米久乃利生徒等が在籍する遠州夢倶楽部では、浜松で戦前まで製造されていた幻の酒「忍冬酒にんどうしゅ」を復活させた。忍冬(すいかすら)を用いた薬酒で家康が愛した長寿の酒という。

### イベント情報

#### しずおか未来づくりネットワーク

##### 交流会inかわねのお誘い

県下の地域づくりに取り組んでいる関係者が一同に会し、意見交換等を行い、交流と連携を深めよう「しずおか未来づくりネットワーク交流会inかわね」が開催されます。

「かわね談義・交流会・かわね味覚づく

し」等、楽しい、美味しい企画を予定しています。

お誘い合わせの上、是非御参加下さい。とき 平成9年11月28日(金) 29日(土) 基調テーマ

「かわねは今日も いいやんばい!」  
... 過疎から過疎への問いかけ...  
ところ・プログラム

◇18日(11月28日) 12時開会

開会セレモニー 分科会第1部

川根町民文化会館「チャリム21」

交流会・分科会第2部(夜なべ談義)

本川根町又峡温泉「翠紅苑」(宿泊)

◇2日目(11月29日) 10時開会

分科会発表会・味覚「かわねづくし」

・シンポジウム「地域づくりの真髄は:」

中川根町茶茗館

#### 分科会テーマ

①大井川にこだわってみよう ②「過疎」という名のユートピア? ③地域産業の産業化戦略 ④ニューツーリズムの舞台で何を感ぜられるか ⑤よそ者、若者、パカ者:君は一体何者? ⑥地域づくりの真髄、「守」「破」「離」

申込先:問い合わせ

静岡県地域振興室 静岡市追手町9-6

TEL 054・221・3341

FAX 054・221・2776

申込期限 大至急申し込んで下さい。

※めだかの生徒・言い出しっぺのひとり

武井紀夫もコーディネーターで出ます。

地元北島亭生徒が準備に大活躍中です。

#### 「地域学フォーラム」in島田

1/21・22開催予定

昨年、引佐町で開催され、めだかの学校の皆さんが多数出席いただいた「地域学フォーラム」を今回は、島田市「ブラ

サおるり」を会場にして、開催します。中小都市や流域に関する提案をしていきます。

ご参加をお待ちしています。

### みんなで行ってみませんか。

(企画担当・山内秀彦生徒)

11月23日 中仙道妻籠宿

第29回文化行政風俗絵巻の行列

(詳細は053・523・2958 上嶋まで)

### 「第8回地域づくり団体全国研修福井大会」

とき 平成10年2月27日(金) 28日(土)

ところ 福井県南条町南条文化会館

開催目的は、生活満足度日本一にランクされた福井県で「豊かさのなかでの地域づくり」について考えましようということと副題「越前若狭の国から春の息吹」

基調公演は浜美枝氏「美しい日本の暮ら

し」。

締切12月10日(水) 参加費7000円

(宿泊別) 詳細は榊原まで

### まつり情報

#### 三浦信濃市長参観

★南信濃村 12月8日(1月4日)霜月祭り

各地区の神社にて行われる。遠山郷に古くから伝わる湯立祭

★春野町 12月15日(16日)秋葉の火まつり

問合/春野町経済課0539・89・0111

★引佐町 1月3日 寺野ひよんどり

1月4日 川名ひよんどり

問合/引佐町企画商工観光課0534・2・1113

★天竜市 1月3日 榊山のおくぬい

1月4日 神沢のおくぬい

問合/天竜市商工観光課0539・22・0033

★天龍村 1月3日 坂部冬祭り

問合/天龍村観光協会0260・32・2001

# トピックス

「おめでと〜」めだか生徒にめだかの赤ちゃん誕生！

●2組のめだかの夫婦がおりました。ともに身ごもり、1組がかわいい女の子を生んだ。名和紅・加代子夫婦。女の子の名前は宇宙歩(うっほ)ちゃん。めだかの学校で、向井さんの「宇宙めだか」を育てて学校へ送ろう」と企画したが、資金がなくて、地球めだかに変更したけれど、こちらのめだかはすくすく育って欲しいですね。おふたりさん。

もう1組は、前嶋康・恭代夫婦。ただいまお腹の中で育てている。ハネムーンめだかだつて。「私、最高に幸せです〜」会う人会う人におすすそ分けのめだかでした。(榎原)

●10月24日に2人目の子供(待望の長女)が誕生しました。(山内秀彦生徒)

## 結婚おめでとう

鈴木知賀男生徒が結婚しました。幸せな新婦は朱美さん。花のコーディネートは句坂鈴子生徒でした。

夢風舎の軒下に今年もつるし柿がならびました。もうじきメジロが20〜30羽毎日来るようになりま〜。皆さん遊びに来てください。(上嶋)

## 新入生紹介

寺田 正春 [磐田市]

豊岡村の養草園で創立から、「葉草づくり」に関わって定年退職まで二十年。そのあと群馬県の「葉草づくり」に2年間指導に出かけて帰ってきた。正直者で、几帳面で、頑固の標本みたいな人。でも追っかけがいるんです。葉草研究会の皆さん。めだかの生徒の山名れい子さんもそのひとりです。

エ!!今ですか。学舎の「つみくさ」に泊り込んでボランティアで環境整備中。もうびつくり。12月の開校日には間違えませぬように来年の秋には、みやぎ萩や女郎花(おみなえし)が迎えますよ。本人弁「私は中途半端にはしません。徹底的にやります。でも、だいぶかかりますね。アツハツハハハハ」。分かります? みなさん。(榎原談)

## 中嶋 豊

[浜岡町]

ここ数年来自分の中で消化不良をおこしていたものが、めだかの学校とその生徒の皆さんのおかげで、近頃だいぶ回復に向かっています。

地域づくりの一役買おうと、2年半前に「車座の会」を結成、同じ地区の男女達15人(女性も一人いる)でジタバタしているが、どうも空回りの連続で、一役なんつてとんでもなく、自己満足がやつとの始末。寄り合いやるにも集まりが悪く、イベントやるにも金はない、消えそうできえ

## 事務局より

時間割の変更のお知らせ  
より有意義で楽しい時間が過ごせるようにと  
少しだけ、タイムスケジュール変更があります。

PM 6:20	予鈴 校歌斉唱	8:00	給食係紹介
6:30	新入生自己紹介		メニュー、協力者、贈り物紹介
6:40	第1時間目 授業	8:10	給食開始(テーブルでの会食)
7:00	第2時間目 授業	9:00	校長他3役引き継ぎ
7:20	第3時間目 授業		次回給食係の紹介(事務局)
7:40	校長訓話	9:10	給食(自由)
7:50	事務局からのお知らせ 移動	10:00	終了宣言(教頭) 全員でかたづけ

## 必ず手続きを!!

五期は9年9月1日から10年8月31日までです。新入生・継続生ともに手続きが必要です。

在校生でまだ入校手続きをなされていない方は、至急手続きをとってください。同封の入校申込書に記入し入金金1,000円を添えて申し込んでください。手続きのない方は、自動退学(名簿からはすれる)となりますので気をつけてください。入校金を納入して「めだかの学校生」となります。

## 各地のたよりの掲載について

各地域でいろいろの催事があると思います。次回発行日は、2月ですので、1月20日までに事務局へファックス、又は封書にて送付ください。

## 編集後記

紅葉狩りには最高の秋晴れ続き。でも美しい水を湛えているはずの天竜川やダムは水不足で取水制限が。「自然との共生」を又、考えさせられてしまう。学舎前がみちがえるようにきれいになったという。少し早めに登校して回りを散策してみようかな。

## めだかの学校事務局

〒431-23 静岡県引佐郡引佐町1737-286  
いなさ自然休養村(つみくさ)  
TEL・FAX 053-543-0321